

第43回日本精神科看護学術集会 in 愛知 名古屋国際会議場

ワークショップ⑥ 第8会場（3F）

メリデン版訪問家族支援から学ぶ 「本人を含めた家族」へのアプローチ

2018.6.16 (sat) 9:00-11:10

メリデン版訪問家族支援（行動療法的家族支援 Behavioural Family Therapy; BFT）は、精神疾患を抱える当事者とその家族に対する家族支援技術です。英国で開発され、世界に広まりつつあるこの支援は、日本の臨床では、2015年から試行的に導入が始められ、日本の精神保健医療の中で「本人を含めた家族」に少しずつ届けられるようになりました。

今回は、このメリデン版訪問家族支援の概要について一緒に学び、「本人を含めた家族」へのアプローチについて、臨床で役立つ実践スキルの模擬体験を行いながら共に考えたいと思います。今回は、「家族一人ひとりのアセスメント」に焦点を当てます。このワークショップを通して、精神疾患を抱えながら地域で生活する本人とその家族への支援について、新たな視点を見出したり、これまでの支援の仕方について再考する機会にしたいと思います。

メリデン版訪問家族支援（Behavioural Family Therapy）で使用している、家族一人ひとりの質問紙（Individual Family Member Interview Schedule)の一部を用いたペアワークを行います。

（定員30名）

ファシリテーター／プレゼンター

- 小松容子（宮城大学・講師・精神看護専門看護師・BFTトレーナー）
- 吉野賀寿美（五稜会病院・看護部長・BFTトレーナー）
- 長江美代子（日本福祉大学・教授・精神看護専門看護師・BFTトレーナー）
- 進あすか（訪問看護ステーションみのり・統括管理責任者・Family Worker）